

卒業式式辞

金国山や校庭の草木にも春の息吹が感じられる今日の佳き日に、田川市教育委員会教育部長 阿納 勲 様をはじめ、多くのご来賓の方々のご臨席を賜り、第66回卒業証書授与式を挙げていただけますことに、深く感謝申し上げます。

さて、23名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。今、皆さん一人ひとりに卒業証書を手渡ししながら、この三年間の様々な場面が、頭をよぎりました。

三年前、桜の花の咲く中を、期待と不安の入り交じった顔で臨んだ入学式、心一つにして Cutter を漕いだふれあい学級、働くことの意義が少し分かった職場体験活動。

その君たちが3年生になり、最上級生として、生徒会活動や学校行事など、すべての中心となって活躍してくれました。特に、猛暑の中、ブロックの団結と三年生一人ひとりの熱い思いが詰まった小中合同運動会では、見ている人に、小中一貫教育の素晴らしさと感動を与えてくれました。また文化祭では、一年生の時に続き、見事グランプリ獲得。この歌声にも、多くの方が感動を覚えました。

皆さんの真剣な取り組みは、これからの猪位金小中の後輩にも受け継がれ、伝統として生きていくものと確信しています。

では、卒業していく皆さんの旅立ちにあたって、次の言葉を贈りたいと思います。『きついときこそ踏ん張れ』。この言葉は、文化祭での保護者の応援メッセージ『苦しくなったら踏ん張れ』と同じ意味でもあります。



皆さんは今日、この猪位金中学校を巣立って行きますが、明日から始まる新しい生活は、決して楽しいことばかりではありません。きっと辛いことやきついことも経験するでしょう。しかし、その経験のすべてが、人として、より大きく成長するときでもあります。

『逆境の時こそ、生き様の見せどころ』。この言葉は、何度も挫折を味わい、昨年ソフトバンクホークスを引退した小久保選手

の言葉です。『逆境つまり、きついときこそ、考え方をプラス思考に切り替えることが大切』、と小久保選手は言っています。

また、パナソニックの創業者である松下幸之助氏は、「失敗したところをやめてしまうから失敗になる。成功するところまで続ければ、それは成功になる』と言っています。

このように、逆境をプラス思考で乗り越えることや最後まで諦めないという強い意志を持つことが、生きていくうえで大切なことではないでしょうか。

皆さんの文集にも書きましたが、人生には、『良い流れ』と『悪い流れ』があります。その『悪い流れ』の時に、どれだけ踏ん張れるか。また、『悪い流れ』をどれだけ『良い流れ』に、変えることができるか。ここが大きなポイントになります。

そのためには、『自分自身を客観的に見つめること』そして『相手の心を察すること』、この二つがとても大切になります。これにより、人間関係においても『良い流れ』が生まれてきます。

4月から、新しい学校生活が始まります。背伸びすることなく、自然体で自分らしさを出していくと同時に、少し、自分自身を客観的に見つめ、相手の心を察することに意識を置けば、きっと楽しい高校生活を送ることができると思います。

保護者の皆様、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。中学校入学以来三年間、一日たりとも、気の休まる日は無かったのではないのでしょうか。本日晴れて卒業の日を迎え、我が子の晴れ姿に感慨もひとしおのことと思います。また、保護者の皆様には三年間にわたり、本校の教育活動に、温かいご支援と深いご理解、さらに多大なるご協力を頂きましたことに、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

最後に、23名の卒業生諸君の限りない発展を心からお祈り申し上げ、式辞と致します。

平成二十五年三月十四日

田川市立猪位金中学校
校長 中山 秀樹

